住民主体活動の紹介

このページでは、住民主体活動（福祉部含む）をお伝えします。
情報お待ちしています。

活動紹介30　大間々16区福祉部
認知症サポーター養成講座開催

多世代交流館で７月28日（木）、市の出前講座による認知症サポーター養成講座が行われました。

23人が参加し、認知症の知識や当事者との関わり方について我が事のように耳を傾けていました。

「元気なうちに自分の事を知っている人が多いこと」が、認知症になっても地域でその人らしく暮らせる第一歩となり、特別な支援をするのではなく、日常生活の中で自分ができる会話や見守りが大切であることを学びました。

地域の見守りや生活支援を行っている自主グループ“おせっ会”の役員さんは「肩の力を抜いて、同様の活動が各地に広がり、高齢になっても住みやすい地域になって欲しい…。」と話していました。講座終了後も、集まる機会やすぐに取り組める活動を参加者同士で模索するなど、優しいまちづくりにつなげていけそうです。

活動紹介31　笠懸３区わかばサロンⅡ

７月７日（木）に笠懸３区公民館で、わかばサロンⅡが行われました。

琴の穏やかな音色が会場を包み込み、夏の暑さを忘れうっとりと聞き入っていました。そして、「茶摘み」や「夏の思い出」などの曲が演奏されると参加者も口ずさみ、素晴らしいひと時を過ごすことができました。その後、手話ソングを行いサロンは終了しました。

参加者は、「コロナ禍は、人とも会えず笑うこともなかった。今日は来ることができて良かった。」と話し、中心となっている民生委員、親老会の人たちの励みになったようです。

改めて地域のみなさんが集える場の大切さを感じる良い機会となりました。